

志小安全・防災だより



バックナンバーは本校 Web ページ (右の QR コード) でご覧いただけます。

R2. 8. 3 No.19

安全・防災担当: 早坂 潤

夏休みに向けて水難事故防止を呼び掛けています

7月27日(月)の朝会で、水難事故防止に関わる話をしました。これから梅雨が明け、本格的な夏を迎えようとしています。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のために学校のプールはもちろんのこと、林際の町民プールや「サンオーレそではま」の海水浴場も利用できないということで、子供たちの夏の楽しみが減り、がっかりしていることと思います。そのような中でも、夏は涼しさを求めて、海や川、湖などがある自然とのふれあいを求めて家族で出掛ける機会があることでしょう。家族が一緒なので油断をしてしまうと、命に関わるような水難事故に巻き込まれてしまうことを何度か私は、目の当たりにしてきました。この日の朝会では、海や川での危険箇所を例に出して話をした他に、志津川地区にも数か所点在する、ため池がいかに危険なのかを動画で示しながら話をしました。ため池にもいろいろありますが、この日、例に出したのは、陸地から水辺までがなだらかなコンクリートで囲まれているため池です。ここでは、数年前に父子3人が亡くなっています。このため池に落ちてしまったらはい上がることができるのかを実験した動画を見ました。結果的には、大人でも岸まで泳ぎ着くことはできても、コンクリートに付いている泥やコケで滑り、這い上がることができませんでした。このような危険な場所には絶対に立ち入らないようにすること、万が一落ちてしまったら、服を着ていると空気が入り水には浮くことができるので、学校の着衣水泳の学習で学んだことを思い出し、助けが来るまで浮いて待つことの重要性を伝えました。



体育主任の渡邊先生より海における危険なところの話を写真で紹介されました。

長雨で地盤が緩んでいることから土砂災害にも注意です

南三陸町のハザードマップには、土砂災害の警戒区域が示されていますが、今年の台風19号上陸の際には、警戒区域外でも土砂崩れが発生していました。これまでは、どちらかというと海岸沿いなので津波等の災害に目がいきがちでしたが、突然の豪雨で、これまで予測もしなかった災害がいつでも起こり得る状態であることをしっかりと伝えていきたいです。7月28日のニュースでは、山形県で最上川流域にある大石田町が河川の氾濫で大きな被害を受けていることが放映されていました。これから台風の発生時期に伴い、自分たちも十分に気を付けなければなりません。子供たちに防災の授業をとおしてしっかりと教えていきます。【昨年10月台風19号より】



山間を通る道路は沢の水が増水すると土石流も発生しやすくなるので要注意です。



志津川中学校前の八幡川も大きなうねりをあげ、周りの土地が川の水でえぐられていました。